

## 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

## 【評価実施概要】

事業所番号	4570102113
法人名	有限会社サン・ヴィレッジ
事業所名	グループホームたんぼぼ2号館
所在地	宮崎市大塚町権現前920-1 (電話) 0985-48-3308

評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	宮崎市和知川原1丁目101
訪問調査日	平成20年6月17日

## 【情報提供票より】(20年 5月 1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7人 非常勤 2人 常勤換算 8.0人	

## (2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り
	2 階建ての 階 ~ 2 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円	
敷金	有( 円) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概要( 5月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.6 歳	最低 69 歳	最高 92 歳		

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	和知川原生協クリニック、生協病院、にしな歯科医院
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は閑静な住宅地に在り、散歩や近くのショッピングセンターに買い物に行く時など近隣の人々や保育園児達と挨拶を交わしたり、会話をするなど顔なじみの関係がある。事業所の一階は、通所介護施設になっており、利用者が気軽に遊びに行くことができる。又、利用者の身体機能低下を予防するために理学療法士を招いて、利用者個々に合わせたリハビリを行っている。
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価については、前任管理者との引き継ぎが不十分で、取り組み方法等が十分理解されていなかった為、改善課題についての話し合いや改善計画の作成はされていない。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は、職員に評価の意義について説明し、職員一人ひとりが自己評価に取り組んでおり、改善計画などについても前向きに取り組む姿勢がある。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーからの意見や要望を受け、双方向的な会議になるよう配慮している。サービス評価と運営推進会議を結びつける取り組みはされていない。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等の来訪時には積極的に声をかけ、利用者の状況を伝え、家族からの意見や要望を運営に反映させる姿勢がある。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域住民の一員として、自治会に加入している。散歩時など近隣の人々や保育園児達と挨拶を交わしたりしている。地域の行事に参加したり、災害避難訓練時の参加・協力はこれからの取り組みになっている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年、新築移転を機に分かりやすい、5つの項目で利用者の生活を支援する事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月1回行われるミーティングにおいて、理念について話し合い、実践が理念に基づいたものになるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民の一員として自治会に加入している。散歩時など近隣の人々や保育園児たちと挨拶を交わしたり、会話をしたりしている。又、ボランティアの来訪もある。		地域の行事等にも利用者と共に積極的に参加するなどの取り組みも期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の外部評価を機会に、自己評価及び外部評価を勉強することができた。今後は評価を活かして具体的な改善に取り組む姿勢がある。	○	前回、そして今回の評価結果を踏まえ、改善計画シートを作成し、質の確保・向上へのさらなる取り組みを期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、事業所からの報告とともに、参加メンバーからの意見や要望を受け、サービスの向上に活かせるよう取り組んでいる。サービス評価と運営推進会議を結びつける取り組みはされていない。		運営推進会議では自己評価の内容の説明や外部評価の結果を公表し、意見をもらうようにしてほしい。又、会議のメンバーに市行政の職員や地域住民などにも積極的に参加してもらえるよう更なる働きかけを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	サービスの質の向上に向けて、市担当者とは行き来する働きかけを行っているが、市担当者との協働関係は十分とはいえない。	○	市担当窓口に対して事業所の考え方、現場の実情などを積極的に伝え、協働関係の構築に取り組んでほしい。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の来訪時には積極的に声をかけ、利用者の状況を伝えている。遠方にいる家族には電話で様子を伝えている。又、月末には、利用料金請求書と一緒に利用者の状況などを写真や手紙などで伝えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関内の棚にご意見箱を設置している。家族には来訪時、何でも言ってもらえるような雰囲気作りに留意している。		家族等が意見や苦情を安心して表せる機会のある場としての家族会を設けるなどの更なる取り組みも期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまでは職員の出産や育児などによる離職が多かったが、その都度、引き継ぎの期間を十分に取り、利用者や家族には説明を行い、できるだけスムーズに移行できるように配慮している。		面会や職員との会話、質問などの少ない家族の理解と安心を得る工夫として、ホーム便り等で入・退職の職員について知らせてほしい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員の質の確保・向上に向けた育成の必要性を理解し、研修機会の確保に取り組んでいるが十分とはいえない。	○	年間計画の中で、事業所内外での研修を位置づけ、研修内容を報告する機会、また研修報告書を全職員が閲覧できるように工夫をしてほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡協議会に加入し、勉強会に参加するなど同業者との交流を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		管理者や介護計画担当者に留まらず、全職員を対象に同業者同士との相互訪問などの実現に向けて、更なる取り組みも期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるように、自宅を訪問したり、利用者・家族等に見学に来てもらうなどの配慮をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と一緒に過ごしながらか、他人に対する優しさや物を視る姿勢などを学ばせてもらっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別に話を聞いたり日々の行動や表情から、一人ひとりの思いや意向を把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員は、利用者を2人1組の受け持ち制で支援しており、本人の意向や家族の意見、アイデアを反映しながら本人本位の計画を作成している。更に受け持ち担当者は、1回/月のミーティングで、具体的に前回との比較なども伝えて職員全員の意見も聞いている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、利用者の状態に変化が生じた場合は、臨機応変に見直しがされているが、本人や家族等からの新たな要望や状況の変化がない場合は、3～6か月の期間で計画の評価と見直しを行ない、計画の作成を行っている。	○	安定しているような利用者の場合も、毎月のミーティングを活かして月に1回介護計画の見直しを行なってほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所は、自宅で暮らす認知症の利用者に緊急時等、自宅で介護が困難な時にショートステイを提供できる体制がある。管理者は地域住民にそのことを伝える機会がある。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、本人や家族が希望するかかりつけ医となっており、家族と協力し、通院介助を行ったり、往診に来てもらうケースがある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「看取りに関する同意書」を作成し、終末に対する対応指針を定め、家族、医療機関担当主治医、看護師を交えて話し合い、全員でその方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物など個人情報の管理がしっかりされている。訪問時においては、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言動は見られなかった。		職員の交代時などには、認知症ケアの知識や対応の研修の機会を設け、職員が早期に理解できるように工夫してほしい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは設定しているが、その時の本人の気持ちを尊重して、その人らしい生活ができるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物、調理、後片付けなどは、利用者がやってみたいと思うように声かけをしている。食事は職員1人だけが検食として利用者と同じ食卓を囲んで同じものを食べており、他の職員は介助後、休憩時間に別室で持参の弁当を食べている。	○	一緒に食事をとることの意義を経営者、全職員で検討し、協力を得て、職員が利用者と一緒に食事を楽しめる環境作りに前向きに取り組んでほしい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴曜日は設定されているが、本人の希望によって、柔軟に対応できるように支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物の取り入れやたたみかたなど職員と一緒に楽しみながら行っている。又、近隣の散歩や遠出のドライブなど利用者と相談しながら行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の散歩を利用者一人ひとりの希望に合わせて、午前と午後に分けて行っている。又、近くのショッピングセンターに買い物に出かけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は、利用者が外出しそうな気配を察知して連携プレーを取るなど、利用者の安全を確保しながら、日中は鍵をかけない取り組みをしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成している。消防署の協力を得て、年に2～3回の避難訓練や避難通路の確保、消火器など設備点検を定期的に行っている。非常食用食料や備品などは準備中である。		地域住民の参加・協力を得た避難訓練も取り組んでほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月に1回、体重チェックを行っている。利用者一人ひとりの食事量や水分摂取量を大まかに把握している。	○	利用者の希望を取り入れた献立の工夫や、献立表を家族にもわかりやすく表示して安心と理解を得られるよう工夫してほしい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ローカ、居間、食堂など異臭や不快な音も無く、採光や照明も利用者が居心地よく過ごせるよう配慮されている。		献立表や行事表などの文字を見やすく工夫してほしい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や使い慣れた鏡台、時計、ダンス、椅子などが持ち込まれ、利用者の個別に応じた居心地良しの工夫がされている。		